

『八重桜の挿し木』 にチャレンジします 令和3年6月6日～

2年後の 令和5年度春の植樹祭用の苗木を作ることを目指して 朝日二丁目集会所公園の八重桜の挿し木(穂)にチャレンジします。樅の挿し木では 8割前後の発根を実現しているのですが、桜は初めての挑戦ですので手探りの状態です。インターネットの情報を参考にしながら 樅での経験も加味して・・・ さぁどうなることやら。

桜を挿し木で増やす方法とは？

Green Snap編集部Web情報

- 1.挿し穂に生えている葉は、切り口側の下半分を全て落とす。
- 2.挿し穂の切り口を斜めにカットし、2～3時間ほど切り口を水につけておく。
- 3.育苗ポットに、挿し木用培養土を3分の1ほど入れる。
- 4.挿し穂の切り口に発根剤をつけ、そっと育苗ポットの中に挿す。
- 5.挿し穂は土から5cmほどでるくらいの高さに植える。
- 6.脇から培養土を継ぎ足し、ポット上口2～3cm手前くらいまで土をいれる。
- 7.発根して新芽がでるまで、土が乾かないように水やりをして、半日陰で管理する。
- 8.半年ほどして、十分に生育が安定したら、鉢に植え替える。

①令和3年6月6日(日)晴 午前10時 挿し木(穂)に使う枝作りに取り掛かりました。



今年伸びた新しい枝を10～15cmほどの長さで切りました。少し緊張気味です。桜は病気に弱いので、切り口から感染しないように 挿し穂を切り取った親株の切り口には、癒合剤(カルスメイト)を塗布しました。



- 1.挿し穂に生えている葉は、切り口側の下半分を全て落とす。
- 2.挿し穂の切り口を斜めにカットし、2～3時間ほど切り口を水につけておく。



良く水洗いをして 挿し穂に生えている葉をとり、切り口を斜めにカットしました。9本の挿し穂を作りました。植物活性素『メネデル』の1000倍溶液に3・4時間ほど(穂全体を)つけておきました。



- 3.育苗ポットに、挿し木用培養土を3分の1ほど入れる。
- 4.挿し穂の切り口に発根剤をつけ、そっと育苗ポットの中に挿す。
- 5.挿し穂は土から5cmほどでるくらいの高さに植える。
- 6.脇から培養土を継ぎ足し、ポット上口2～3cm手前くらいまで土をいれる。



挿し木用土は 樅と同じ配合でチャレンジします。鹿沼土(細粒)・赤玉土(小粒)・ひゅうが土(細粒)を 1:1:1で使用。ポットを 挿し穂をつけていた『メネデル』溶液で浸し半日陰に置きました。(樅でも使用する自家製簡易育苗庫(?)です)→



ここの中に設置

全部で9本
しばらくは根気強く水やりです!!